

中国語の禁止表現

—— “不要” と “不能” が表す〈禁止〉 ——

勝 川 裕 子

1. はじめに

中国語の禁止表現には、その代表的な形式として“不要+VP”が挙げられる。一方で、可能の助動詞“能”の否定形“不能”も〈禁止〉を表す場合があり、中国語の初級教材でも注記されることが多い。次の例(1)、(2)は〈禁止〉を表す文法項目の典型的な教科書記述であり、それぞれa、bのような用例が挙げられている。

- (1) “不要 *búyào*”：動詞の前において禁止の意味を表す¹⁾²⁾。
- a. 上课的时候, 不要说话。(『いぶこみ』第15課:101)
[授業中は話をしてはいけません。]
 - b. 请不要照相。(『アクティブ』第20課:117)
[写真を撮らないでください。]
- (2) “不能 *bù néng*”：助動詞“能”の否定形。不可能や禁止を表す。
- a. 图书馆里不能吃东西。(『体系的』第8課:39)
[図書館の中でもものを食べてはいけません。]
 - b. 你不能一个人去旅游。(『しっかり』第9課:46)
[あなたは一人で旅行に行ってはいけません。]

両表現形式は共に禁止義を表すものの、“不要”が〈禁止〉を表すに至る拡張ルートや“不能+VP”において〈不可能〉と〈禁止〉がリンクし得る動機付けについて追究した先行研究は少なく、また、“不要+VP”と“不能+VP”の異同についても明確な説明が与えられているとは言い難い。

本論文では、“不要+VP”、“不能+VP”と共起する人称やフレーズの特徴、発話環境を観察することを通じて、それぞれの形式が表す〈禁止〉の統語的・語用論的特徴を明らかにし、“不要+VP”と“不能+VP”が表す〈禁止〉のニュアンスの相違について探っていく。

2. 〈禁止〉と〈否定的願望〉

以下の例(3)はa、b共に聞き手“你们/你”が子供を産むことを制止する表現であるが、その〈禁止〉のニュアンスは大きく異なる³⁾。

- (3) a. 你们两口子现在条件也不是太好，最好先不要生这个孩子，等过两年再说。(*不能)
 [あなたたち夫婦は今、条件も良いとは言えないのだから、まずはその子を産まないで、2、3年経ってからまた考えた方が良い。]
- b. (父亲：) 一个姑娘家居然未婚先孕，说出去我们家面子往哪儿放！你绝对不能生这个孩子！(*不要)
 [(父親：) 娘が結婚前に妊娠するなんて、よそ様に知られたら我が家のメンツはどうなるんだ！ 絶対にその子を産んではならん！]

例(3a)の文脈では“不要”を“不能”に置き換えることはできず、同様に例(3b)の“不能”を“不要”に置き換えることもできない。つまり、“不要”と“不能”は、意味的にも統語的にも区別され得る〈禁止〉を表すのである。

主語の人称によっては“不要”は禁止義ではなく、「～したくない/～するのは嫌だ」といった〈否定的願望〉を表すこともある。次の例(4)、(5)はそれぞれ主語が第一人称、第三人称であるが、例(4a)、(5a)は「この子を産みたくない」という動作主自身の意志・願望を表すのに対し、例(4b)、(5b)は「(私は)産むわけにはいかない」、「(彼女は)産んではならない」という発話者“我”の動作主に対する要求——即ち〈禁止〉を表す。

- (4) a. 我不要生这个孩子，我从来没有想过要生孩子。
 [私はこの子を産みたくない。今まで子供を産みたいと思ったことがないの。]
- b. 我要跟现在的丈夫离婚，所以我不能生这个孩子，生下来也是害了他。
 [私は今の旦那と別れたいの。だからこの子を産むわけにはいかないわ、産んでも子供を傷つけることになる。]
- (5) a. 她怀孕以后发现老公竟然出轨，所以哭着闹着坚持不要生下这个孩子。
 [彼女は妊娠後に夫が浮気をしていることを知り、泣き喚きながら、どうしてもその子を産みたくないと言い張っている。]
- b. 她不能生这个孩子，作为孩子的父亲，我有权决定。
 [彼女はその子を産んではならない。子供の父親として、私には決定権がある。]

〈禁止〉とは、通常、話し手が聞き手にある動作を行わない乃至は中止するよう要求する表

現であり、否定的命令であると定義されている（山岡2000）。次の例(6a)は「あなたにそんな馬鹿げたことをしてほしくない」という主語“我”による〈否定的願望〉を表すが、このフレーズ中の“你”が文全体の主語に繰り上がった（subject raising⁴⁾）のが例(6b)である。つまり、例(6b)は背景化された発話者“我”が主語“你”に対し「そんな馬鹿げたことをしないで（ほしい）」と要求する——即ち禁止する表現である。〈否定的願望〉と〈禁止〉の間に緩やかな意味的連続性を見出すことができよう。

- (6) a. 我不要你总是做这种傻事。
 [私は君にそんな馬鹿げたことばかりしてほしくない。]
 b. 你不要总是做这种傻事。
 [そんな馬鹿げたことばかりしないで。]

次章では、このような〈禁止〉を表す“不要”が意志・願望を表す助動詞“要”とどのような関係にあるのかについて考察する。

3. “不要”が表す〈禁止〉

“要”が動詞として用いられる場合、「(～が) 欲しい、(～を) 必要とする」や「(～を) もらう；要求する」といった意味を表すが、次の例(8)のように“要”の後ろに動詞フレーズをとる場合（即ち“要”が助動詞として用いられる場合）や、例(9)のように“要”の後ろに主述フレーズをとる場合においても、この原義は引き継がれている。

- (7) 我要孩子。[私は子供がほしい。]
 (8) 我要生孩子。[私は子供を産みたい。]
 (9) 我要你生孩子。[私はあなたに子供を産んでほしい。]

例(8)は「(私は) 子供を産むことを欲する→子供を産みたい」という主語“我”の意志・願望を表すのに対し、例(9)は「(私は) あなたが子供を産むことを欲する→あなたに子供を産んでほしい」という主語“我”の他者“你”に対する願望・要求を表す。これは否定形式においても同様であり、例(10)の「ほしくない」、例(11)「産みたくない」は主語“我”の自身に対する意志・願望であるのに対し、例(12)の「産んでほしくない」は、他者に対する否定的な願望・要求を表す。

- (10) 我不要孩子。[私は子供がほしくない。]

- (11) 我不要生孩子⁵⁾。[私は子供を産みたくない。]
 (12) 我不要你生孩子。[私はあなたに子供を産んでほしくない。]

そして、この他者に対する（否定的）願望・要求 [例 (13a)(14a)] は、主語繰り上げがなされることで、例 (13b) は義務・当為と解釈され、例 (14b) は制止・禁止と理解されるようになるのである。古川 2006: 20 も指摘するように、例 (13a)、(14a) の“要/不要”は主語“我”の願望・要求である（要_{SBJ}と略記する）のに対し、例 (13b)、(14b) の“要/不要”は背景化された発話者の願望・要求である（要_{SPK}と略記する）ことに留意されたい⁶⁾。

- (13) a. 为了以后能找到好工作, 我要_{SBJ}你好好学习英语。
 [今後良い仕事を見つけるために、私は君にしっかりと英語を学んでほしい。]
 b. 为了以后能找到好工作, 你要_{SPK} 好好学习英语。
 [今後良い仕事を見つけるために、君はしっかりと英語を学ばなければならない。]
 (14) a. 我不要_{SBJ}你总是这样为他人着想, 亏待自己。
 [私はあなたにそんな風にいつも人のことばかり考えて、自分を粗末に扱ってほしくない。]
 b. 你不要_{SPK} 总是这样为他人着想, 亏待自己。
 [そんな風にいつも人のことばかり考えて、自分を粗末に扱わないで。]

このように、他者に対する否定的願望・要求 [例 (14a)] は主語繰り上げを介して懇願的制止・禁止 [例 (14b)] と結びついており、次の例 (15) のように文中において畳み掛けるように用いられることが少なくない⁷⁾。このことから他者に対する否定的要求（～してほしくない/～しないでほしい）と懇願的制止・禁止（～しないで/～するな）は表現機能上、似通った性質を有していることが分かる。

- (15) 忽地，阿宝掉下了眼泪，跪在他面前，大声哭起来——“义父，你不要_{SPK}死，我不要_{SBJ}你死——”老人欣慰地摸摸他的头，“傻蛋，人岂能不死，义父又不是神仙，该死的时候就会死了，你也别太难过——”（于晴《阿宝公主》/BCC）
 [突然、阿宝は涙をこぼし、彼の前にひざまずいて大声で泣き出した。「義父さん、死なないうで、死んじゃ嫌だ——」老人は安堵した様子で彼の頭をなでて（言った）「馬鹿だな、人は死ぬもんだ、仙人じゃあるまいし、死ぬべき時に死ぬのだから、お前もそう悲しむな——」]

4. “不能”が表す〈禁止〉

一方、“不能”は可能の助動詞“能”の否定形式であり、能力や外在条件（状況・道義）が備わっていないことによる実現不可能を表す。元来〈不可能〉を表す“不能+VP”が〈禁止〉を表すに至る動機付けとはどのようなものであろうか。

勝川2015: 70は“不能V(R)”が成立する統語的制約及び意味的特徴について“V不R”と比較対照しながら考察し、当該形式で表される〈不可能〉とは、意図性をもつ、主観的な不可能であり、実際には実現可能であっても、意図して「(よう)できない」「やるわけにはいかない/ようやらない」という〈不可能〉であると結論付けている。例えば、次の例(16)からは「手伝おうと思えば手伝えないこともないが、違法だから手伝うわけにはいかない/手伝えない」という発話者の意図が窺える。これに対し、“V不R”は「話手の打消の意向を除いた、事実としての不成立」（大河内1980: 69）を表すことから、例(16)、(17)の文脈では可能補語形式を用いることはできない。

(16) 这是违法的事情，我不能帮你的忙。(？帮不了)

[これは違法な事だから、私はあなたを手伝うわけにはいかない。]

(17) 法律规定，十八岁之前不能抽烟。(*抽不了)

[法律の規定では、18歳以下は煙草を吸うことはできない。]

(例(16)、(17)は勝川2015: 70より引用)

そして、このような〈不可能〉な事態が他者による不許可に起因する場合、「(許されないため)できない」から「～してはならない」という〈禁止〉へと拡張していく。例(18)は“我”による不許可であり、「この料理を全部食べてはダメだ」という〈禁止〉を表す。同様に、例(19)は“医生”による不許可であり、「喫煙や飲酒は不可、喧嘩も興奮もしてはならない」と注意勧告している。

(18) 这盘菜你不能全吃了，要留一些给我。

[この料理は全部食べてしまってはダメだよ、私に少し残しておいて。]

(19) 李维境坐在沙发上，喝了口热茶，平息一下激动的情绪。医生警告过他，不能抽烟、不能喝酒、不能吵架、不能激动。(新城《复制》/BCC)

[李維境はソファに座ると、熱いお茶を一口飲み、興奮を落ち着かせた。煙草を吸わないように、お酒を飲まないように、喧嘩をしないように、興奮しないようにと医者が彼に注意していたのだ。]

次の例(20)は病院で中絶すると言い張る娘(孟心怡)と母親(孟母)のやり取りであるが、娘の台詞では“不能”が畳み掛けるようにして用いられている。このような第一人称を主語にとる“不能”は、単に動作が実現できないことを表すものではなく、「私は～することは許されない/してはならない」という自らに課す不許可・禁止表現であると解釈すべきであり、ここに発話者自身の強い意志を読み取ることができる。

(20) 孟母：“你不能做手术。来，跟我回去！”

孟心怡：“我不能走！这个孩子我不能要，他不能留下来！我不能回去！”

(电视剧《步步惊心》；勝川2015: 70)

[孟心怡の母：「手術してはダメよ。さあ、私と帰るのよ！」]

孟心怡：「帰らないわ！ この子は産むわけにはいかないの、産んじゃダメなの！ 私帰らないから！」]

5. 〈禁止〉を表す“不要+VP”と“不能+VP”の統語環境

ここまで“不要”と“不能”が禁止義を表すに至る動機付けについて個別に考察してきた。ここでもう一度冒頭に挙げた用例を見てみよう。

(21) a. 你们两口子现在条件也不是太好，最好先不要生这个孩子，等过两年再说。(*不能)

(例(3a)再掲)

b. (父亲：) 一个姑娘家居然未婚先孕，说出去我们家面子往哪儿放！你绝对不能生这个孩子！(*不要)

(例(3b)再掲)

例(21a)の“不要”は発話者を指向するものであり、発話者の願望に基づいた否定的要求——即ち「～しないで(ほしい)」という懇願的制止・禁止を表している。一方、例(21b)は「子供を産むことを認めない」父親の不許可に基づく実現不可能であり、状況的にも情理的にも許されないという〈禁止〉を表している。このような〈禁止〉のニュアンスの相違は、例(21a)の“不要+VP”が控えめなアドバイスを表す副詞“最好”[できるだけ…した方が良い]と共起していることや、例(21b)の“不能+VP”が強い意志・決意を表す副詞“绝对”[絶対に、必ず]と共起していることから読み取ることができる。

例(21a)以外にも、〈懇願系禁止〉を表す“不要+VP”は、次の例(22)、(23)のように“请不要+VP”や“求你不要+VP”といった形式で用いられることが多い。これは当該形式が発話者の(個人的な)願いに基づいた禁止表現であることを示唆しており、これを“不能”に置き換えることはできない。

- (22) 李胜利一本正经地说：“请不要误会我的意思，我是说我们已经成了朋友关系，……”
(*请不能) (山顶的草《美男无敌》/BCC)

[李勝利は真面目くさって言った。「どうか私の意図を誤解しないでください。私が言っているのは、私たちはもう友達だし…」]

- (23) 星凌风这时突然跑到星耀身边，跪在星耀面前乞求道：“师傅，求你不要杀师兄，师兄一定能战胜心魔，他会挺过去的，师傅……” (*求你不能) (端月《盗墓修神》/BCC)

[星凌風はこの時、星耀のそばにつつと駆け寄り、星耀の前にひざまずくと懇願して言った。「師匠、兄さんを殺さないでください。兄さんはきっと心中の魔物に打ち勝つことができます。きっと持ち堪えますから。師匠…」]

また、主語の人称制限については、“不要+VP”が目の前にいる聞き手（即ち第二人称）に向けて用いられる傾向があるのに対し、“不能+VP”は、人称に関係なく用いられる [例 (24)] だけでなく、場所や立場、時間などを主語にとることもできる [例 (25a)、(25b)、(25c)]。状況的・立場的に許されずできないこと——即ち規則やルール、社会通念により禁じられている事態は、“不能+VP”形式が相応しいことが分かる。

- (24) 孟母：“你不能做手术。来，跟我回去！”

孟心怡：“我不能走！这个孩子我不能要，他不能留下来！我不能回去！”

(电视剧《步步惊心》；例 (20) 再掲)

- (25) a. 图书馆里不能抽烟。(場所)

[図書館の中では煙草を {吸えません/吸ってはいけません}。]

- b. 在日本未满18岁的青少年不能抽烟。(立場)

[日本では18歳未満の青少年は煙草を {吸えません/吸ってはいけません}。]

- c. 我们公司工作时间不能抽烟。(時間)

[うちの会社は仕事中は煙草を {吸えません/吸ってはいけません}。]

6. 〈禁止〉を表す“不要+VP”と“不能+VP”の語用環境

最後に、〈禁止〉を表す“不要+VP”と“不能+VP”がどのような文脈において選択される傾向にあるのか、次の例 (26)～例 (28) を通じてその語用環境を観察してみる。

- (26) a. 周繁漪（急促地）：萍，我没有亲戚，没有朋友，没有一个可信的人，我现在求你，你先不要走。(曹禺《雷雨》/BCC)

[周繁漪（切羽詰まったように）：萍、私には親戚も友達もいないの、一人も信じら

れる人がいないの。お願い、今は行かないで。]

- b. 徐元玉见小玉儿要走, 他发火了。“你不能走!”“为什么?”“我不要你走。”“你要把我留下来?”“不错, 你弄伤我就想走?”(秋梦痕《凤驭龙》/BCC)

[徐元玉は小玉儿が去ろうとしているのを見て怒った。「行っちゃだめだ!」「どうして?」「行ってほしくないからだ。」「私を引き留めたいの?」「そうだ、私を傷つけておいて行くというのか?」]

- (27) a. “娘, 你醒了你不要再睡过去, 娘, 我好怕我好怕我怕你像奶奶一样, 睡着就不醒过来, 娘, 你不要去找奶奶, 你有我呀你有爹呀你有外公外婆呀……我们大家都爱你呀, 求求你不要死求求你不要死……”(琼瑶《雪珂》/BCC)

[「母さん、目が覚めたらもう眠らないでね。母さん、私怖い、すごく怖いの、ばあちゃんみたいに、母さん眠ったらもう目覚めないんじゃないかって。母さん、ばあちゃんのところに行かないで、母さんには私がいるでしょ、父さんもいるし、じいちゃんもばあちゃんもいる…みんな母さんのことが大好きなんだから、お願い死なないうで、お願いだから死なないうで…」]

- b. 倪湛手心冒着冷汗, 但表面仍维持着冷酷面具, 他在她耳边轻喃着: “你不能死, 天艾, 没有我允许, 你千万不能死!”(芄羽《夺爱狂龙》/BCC)

[倪湛は掌に冷や汗をかきながら、しかし表面上は冷酷な表情のまま、彼女の耳元でつぶやいた。「死んではならぬ、天艾、私の許しなしに絶対に死んではならぬ!」]

- (28) a. 秦康极为少见的叼着一支烟, 坐在沙发上一阵吞云吐雾, 呛得一旁的苏小荷不停咳嗽。“拜托! 不要吸烟好么?”或者去阳台吸烟。二手烟对人危害很大的!”

(风过无痕《风流英雄》/BCC)

[秦康はきわめて珍しく煙草をくわえ、ソファーに座って燻らせると、そばにいた蘇小荷がむせて咳き込んだ。「お願い、煙草を吸わないでくれない? もしくはベランダに行って吸ってよ。副流煙はとても有害なんだから!」]

- b. 护士朝李明翰手上的香烟看了一眼。“先生, 这里是医院, 不能抽烟。”“我知道, 我知道, 我这不没有点上吗?” 李明翰立即把烟丢进了垃圾筒里。

(闪烁《砺刃》/BCC)

[看護師は李明翰が手に持っている煙草をチラッと見て(言った。)
「すみません、ここは病院ですから、煙草は吸えません。」「分かってる、分かってる。ほら、火をつけてないだろ?」李明翰はすぐさまその煙草をゴミ箱に捨てた。]

例(26)のa、b、例(27)のa、b、例(28)のa、bにおける禁止表現ではそれぞれ同じ動詞が用いられており、該当する禁止表現のみを抜き出すと次の例(26')～例(28')になる。aとbはいずれも聞き手に対し「行く(その場を去る)こと」、「死ぬこと」、「煙草を吸うこと」を禁

ているが、aでは“不要+VP”が、bでは“不能+VP”が用いられている。

(26') 你 {_a 不要/_b 不能} 走。

(27') (你) {_a 不要/_b 不能} 死。

(28') {_a 不要/_b 不能} 抽烟。

“不要+VP”形式が用いられる環境では、前後に“我现在求你”[例(26a)]、“求求你”[例(27a)]、“拜托!”、“～好么?”[例(28a)]といった発話者の聞き手に対する懇願的発話が見られる。例(26a)では、周蘩漪が「親戚も友人もおらず、一人も信頼できる人がいない」心細い状況下で「お願いだから行かないで」と懇願している。例(27a)も同様に、臨終にある母親に対し、娘が「お願い、死なないで」と縋り付く場面を描写している。例(28a)では、煙草の煙に咳が止まらない苏小荷が秦康に対し、「吸うのをやめるか、ベランダで吸ってくれない?」と依頼している。このような場面で用いられる禁止表現としては、〈懇願系禁止〉を表す“不要+VP”形式こそが相応しく、“不能+VP”形式に置き換えることはできない。

一方、“不能+VP”形式が用いられる環境では、その前後に“他发火了”[例(26b)]、“没有我允许”[例(27b)]、“这里是医院”[例(28b)]といった状況描写が見られる。例(26b)の“你不能走!”は、「(私を傷つけておいて) 去るなんて許さない」という怒りと共に発せられた禁止表現であり、例(26a)の“你先不要走”と比較すると、その語気は相当に強い。また、例(27b)の“你千万不能死!”及び例(28b)の“不能抽烟”は、直前に「私の許しがなければ」、「ここは病院です(から)」といった許されないと判断される根拠が示されていることから、典型的な〈不許可系禁止〉であることが分かる。

このような両表現形式の意味特徴の差は、例(28)a、bからも明確に読み取れる。例(28a)は「煙草を吸わないで(ほしい)」という発話者の個人的な願望・要求を表すのに対し、例(28b)は「病院内では煙草を吸ってはいけない」という規則・ルールを述べるものであり、ここでもやはり“不要”と“不能”を置き換えることはできない。

7. おわりに

以上、本論文では、中国語の禁止表現の中でも特に“不要”と“不能”を取り上げ、共起する人称や文成分の特徴及び発話環境を観察することを通じて、両表現形式が表す〈禁止〉のニュアンスの相違について追究を試みた。以下、本論文で指摘した内容を概括する。

まず、〈禁止〉を表す“不要_{SPK}+VP”形式は、他者に対する否定的要求を表す“不要_{SBJ}+SV”形式と主語繰り上げ(subject raising)を介して形式的に結びついており、表現機能上においても似通った性質を有している。つまり、“不要+VP”は「～しないで(ほしい)」という

発話者の願望・要求に基づいた禁止——即ち〈懇願系禁止〉を表す表現形式であり、このような意味特徴は当該形式が“请”や“求你”といった語やフレーズと共起しやすいことから見て取ることができる。

一方、“不能+VP”形式は元来、能力や外在条件が備わっていないことによる〈不可能〉を表す表現形式であるが、この実現不可能な事態が他者による不許可に起因する場合、「(許されなくて) できない」から「～してはならない」という〈不許可系禁止〉を表すようになる。このような“不能+VP”の意味特徴は、当該形式が規則やルール、社会通念により禁じられている事態を述べるのに用いられることが多いことから明らかである。

注

- 1) 〈禁止〉を表す“不要”の品詞認定については揺れがみられ、副詞と助動詞の二派に分かれている。国内外の主要辞書における内訳は以下の通り。
副詞：《现代汉语词典》(第7版)、《现代汉语规范词典》(第3版)、《中日辞典》(第3版) 小学館、《講談社中日辞典》(第3版) 等
助動詞：《汉语教与学词典》、《现代汉语大词典》、《東方中国語辞典》、《白水社中国語辞典》等(但し、いずれの辞書においてもピンインは分かち書きされておらず、búyào と表記されている。)
- 2) 多くの初級教科書において、意志・願望を表す助動詞“要”の否定形には“不要”ではなく“不想”を用いなければならないと注記されている。
・你要打保龄球吗? ——我不想打保龄球。(『はじめて』第8課: 74)
[あなたはボーリングをしたいですか? ——私はボーリングをしたくないです。]
・你要喝咖啡吗? ——我不想喝。(『いぶこみ』第11課: 76)
[あなたはコーヒーを飲みたいですか? ——私は飲みたくありません。]
しかし実際には、上の例で仮に“不要”を用いたとしても完全に非文になるわけではなく、また〈禁止〉を表すわけでもないが、両形式における〈否定的願望〉のニュアンス及びその使用環境は大きく異なる。この点については、注5)で詳述する。
- 3) 以下、出典の明記されていない用例は作例である。用例はすべて複数の中国語母語話者によるインフォーマントチェックを受けている。
- 4) 主語繰り上げ(subject raising)とは、以下の用例にみられるように、主語を従属節から主節に繰り上げる(rasing)操作を指す。
a. It seems that Bob is a nice guy.
b. Bob seems to be a nice guy.
- 5) 注2)でも述べたように、教学レベルでは否定的な意志・願望を表す表現として“不要”を認めず、“不想/不愿意”を用いるべきであると明記する教材が多い。古川2006: 21においても“*我不要吃苹果。”は非文であるとされている。しかし、実際の言語実態としては、先に挙げた例(4a)、(5a)だけでなく、以下a～dのような用例が散見されることから、非文であると断定することはできない。朱德熙1982: 64においても、(願望を表す“要”は)“可以用“不要”来否定(我不要喝水)”と指摘されている。
a. “够了，不要再说了！我不要听！”方尧大喊道。(畅恋缘《都市鬼才》/BCC)
[「もうたくさんだ、それ以上言うな！ 聞きたくない！」と方尧大は叫んだ。]
b. “我讨厌爸爸，我不要去爸爸那里，我不要去……”她嘟着嘴。(姜银庆《情定大饭店》/BCC)
[「私、パパは嫌なの、パパのところに行きたくない、行きたくない…」と彼女は口を尖らせた。]
c. “不要走，我爱你，我不要你走！”柳芷芸几乎有些歇斯底里地道。
(断桥残雪《修真研究生生活录》/BCC)

「行かないで、愛してるの、行っちゃ嫌よ！」と柳芷芸はヒステリックに言った。」

d. Jasper 用力摇头，拼命答：不要！我不要爸爸变老！（《凯叔讲故事》/BCC）

[Jasper は力いっぱい頭を横に振ると、必死になって答えた。「嫌だ！ パパが老けるなんて嫌だ！」]

BCC コーパスで【我不要 V】を検索したところ、否定的意志・願望として用いられていた用例は 1,110 件検出され、V には「听/去/做/死/看/离开/吃/嫁/回去/再见/走/学/回家/成为」（検索件数順）等が用いられていた。しかし、用例の多くが地の文ではなく、会話の中で用いられており、且つ子供や女性の発話であることから、直截的な拒絶のニュアンスを伴うことが分かる。

意志・願望を表す“想”と“要”の相違については、これまで前者が「未定の意志」を、後者が「定意志」を表すとされ、“要”の方がより強い願望を表すことが指摘されている（孫樹喬 2018: 123）。否定形式の“不想”と“不要”においても、“不要”の方がより強い拒絶を含意するが、これは“要”が元来要求や欲望を表す表現であるためであり、以下の例からもその片鱗が読み取れるだろう。

・我不是不想结婚，是不要结婚！

[私は結婚したくないんじゃないくて、結婚しないの！]

6) 同様の事例として、古川 2006: 23 では以下の例が挙げられている。

a. 老张不知道 SPK 去哪儿了。[張さんはどこへ行ったのか分からない。]

b. 老孙听说 SPK 已经当了局长。[孫さんはもう局長になったらしい。]

c. 那个人看来 SPK 特别可疑。[あの人はとりわけ怪しそうだ。]

7) 次の例における 2 つの助動詞“要”もそれぞれ働きが異なる。前者は主語“你”（＝小燕子）の意志・願望であり、後者は発話者（＝紫薇）の小燕子に対する義務・当為認定である。

・紫薇：小燕子，你要 SBJ 吃东西，先要 SPK 背唐诗。（电视剧《还珠格格》；古川 2006: 23）

[紫薇：小燕子、食べたかったら、まず唐詩を覚えなくちゃ。]

主要参考文献

- 勝川裕子 2015. 「中国語における〈不可能〉とモダリティ」、『ことばの科学』第 29 号：63-78 頁
- 李奇楠 2011. 「禁止表現の日中対照」、『日本語コミュニケーション研究論集』第 1 号：103-112 頁
- 宮本厚子 1996. 「現代中国語可能表現の否定形—「不能」を中心に」、『言語・地域文化研究』第 2 号：1-14 頁
- 大河内康憲 1980. 「中国語の可能表現」、『日本語教育』41 号：61-73 頁
- 孫樹喬 2018. 『意志表現をめぐる日中対照研究』，東京：東方書店
- 須賀章夫 1995. 「命令・禁止表現文における主語のゼロ化と顕在化」、『言語科学 神田外語大学大学院紀要』第 1 号：49-61 頁
- 山岡政紀 2000. 『日本語の述語と文機能』，東京：くろしお出版
- 古川裕 2006. 「关于“要”类词的认知解释—论“要”由动词到连词的语法化途径」，《世界汉语教学》第 1 期：18-28 頁
- 郭昭军・尹美子 2008. 「助动词“要”的模态多义性及其制约因素」，《汉语学习》第 2 期：35-40 頁
- 鲁晓琨 2014. 「“V 得/不了”与“能/不能 VP”」，《現代中国語研究》第 16 期：27-37 頁，東京：朝日出版社
- 沈家煊 2001. 「语言的“主观性”和“主观化”」，《外语教学与研究》第 4 期：268-275 頁
- 张万禾 2007. 「助动词“要”的情态语义分析」，《现代语文》第 3 期：64-65 頁
- 朱德熙 1982. 《语法讲义》，北京：商务印书馆

用例抽出資料

『いぶこみ』：『日中いぶこみ交差点』，相原茂・陳淑梅・飯田敦子著，朝日出版社，2017

『はじめて』：『はじめての中国語会話ツール 24 決定版』，胡金定・吐山明月著，同学社，2015

『体系的』：『体系的に学ぼう初級中国語』，丸尾誠著，金星堂，2007

『しっかり』：『しっかり初級中国語』，石田友美・桑野弘美・島田亜実・鈴木ひろみ著，白水社，2016
『アクティブ』：『いま始めよう！ アクティブラーニング—初級中国語—』，陳淑梅・張国璐著，朝日出版社，
2016
北京语言大学 BCC 现代汉语语料库 <http://bcc.blcu.edu.cn/>

キーワード：不可能、禁止、人称制限、否定的願望

提要

现代汉语的禁止表达方式
——以“不要”与“不能”为例——

胜川裕子

现代汉语中表示禁止语义的代表形式之一是“不要+VP”。事实上，能愿动词“能”的否定形式“不能”同样可以表达禁止语义。这在汉语初级教材中也多有提及，然而据笔者管见，先行研究中考察能愿动词“能”的否定形式所表达的“不可能”语义和“禁止”语义之间内在关联性的研究以及表示禁止语义的“不能+VP”使用条件的研究并不多见。因而导致“不要+VP”与“不能+VP”间在语用等方面的异同问题悬而未决。

本文试通过考察与“不能”共现的人称制约情况、短语性质以及话语环境，来探究表达禁止语义“不能”的内在影响因素。同时考察表达禁止语义的“不要+VP”与“不能+VP”在语气上的差异。

关键词：可能类能愿动词，“禁止”语义，人称制约，语气差异